

# 環境白書の刊行に当たって

本県は、緑豊かな山野、清らかな河川、変化に富んだ海岸線、県土面積の28%を誇る広大な自然公園や、源泉数、湧出量ともに日本一を誇る「おんせん県おおいた」を支える温泉資源のほか、国東半島・宇佐地域の世界農業遺産、日本ジオパークに認定された姫島・豊後大野など、有数の自然環境に恵まれています。

このような豊かな環境を未来に継承するため、平成17年10月に「天然自然が輝く 恵み豊かで美しく快適なおおいた」を目指し、「大分県新環境基本計画」を策定し、身近なごみ問題から地球規模での問題に至るまで環境施策の着実な推進を図ってきたところです。

しかしながら、生物多様性や自然環境・景観の保全、PM2.5などの大気汚染や水環境の保全、地球温暖化問題、再生可能エネルギー導入を巡る諸問題、環境保全活動の担い手確保など、引き続き取り組むべき多くの課題が存在しています。

こうした中、新たな展開として、筑後川や大分川など4つのモデル河川で流域会議を設立し、地域交流会を実施するなど、豊かな水環境を創出するための取組をスタートさせました。あわせて、子どもたちが自然体験等を通じて環境学習を行う団体を「ごみゼロ探検団」に任命し、その活動を支援するなど次世代を担う人材育成についても取組を強化したところです。

また、平成15年度から、県民総参加のもと様々な環境問題に取り組む「ごみゼロおおいた作戦」を展開し、全国に誇れる美しく快適な大分県づくりを進めてきました。その結果、県内における環境意識が高まりを見せ、「大分は街がきれいになった」という声が聞こえるなど取組の成果も現れています。今後は、その成果を生かし、環境保全活動を通じて地域活性化を図る「おおいたうつくし作戦」を推進していきます。

この白書は、平成26年度における本県の環境の現状と環境保全のために実施している施策をとりまとめたものです。県民の皆様には、本書を通して環境問題への関心と理解をより一層深めていただくとともに、環境保全活動に取り組む際の参考としていただければ幸いです。

平成28年3月

大分県知事

広瀬 勝 貞





# 大分県環境白書 目次

第1部 県民中心の施策展開	5	第1項 ゆとりある生活空間の 保全と創造	37
第1章 環境保全に関する施策の推進	5	第2項 美しい景観の形成	37
第1節 環境行政の動向	5	第3項 身近な緑の保全と創造	40
第1項 国における環境行政の動向	5	第4項 身近な水辺の創造	42
第2項 大分県における 環境行政の動向	6	第5項 農山漁村の持つ多面的な 機能の維持・再生	43
第2節 ごみゼロおおいた作戦の 成果と課題、今後の展開	8	第6項 歴史的・文化的遺産の 保存と活用	43
第2章 環境行政の推進体制	11	第3節 温泉の保護と利用	45
第1節 大分県環境基本条例	11	第1項 温泉の資源保護	45
第2節 大分県新環境基本計画 ～ごみゼロおおいた推進基本プラン～	11	第2項 多目的利用と温泉地づくり	46
第3節 大分県環境影響評価条例	14	第2章 循環を基調とする地域社会の 構築	49
第4節 大分県生活環境の保全等に 関する条例	14	第1節 大気環境の保全	49
第5節 美しく快適な大分県づくり 条例	15	第1項 大気環境保全対策の推進	49
第6節 大分県産業廃棄物の 適正な処理に関する条例	18	第2項 地域の生活環境保全対策の 推進	57
第7節 大分県土砂等のたい積行為の 規制に関する条例	19	第2節 水・土壌・地盤環境の保全	60
第8節 大分県希少野生動植物の 保護に関する条例	20	第1項 水環境保全対策の推進	60
第9節 県における環境行政の 推進体制	20	第2項 豊かな水環境の創出	85
第1項 行政組織	20	第3項 土壌環境保全対策等の推進	86
第2項 附属機関	22	第3節 化学物質等への環境保全対策	88
第2部 環境の状況と環境の保全に関して 講じた施策	23	第1項 環境リスクの低減及びリスク コミュニケーションの推進	88
第1章 豊かな自然との共生と快適な 地域環境の創造	23	第2項 放射線の監視体制の充実	93
第1節 豊かな自然や 生物多様性の保全	23	第4節 廃棄物・リサイクル対策	93
第1項 自然公園等の保護・保全	24	第1項 3R（リデュース・リユース・ リサイクル）の推進	93
第2項 自然景観の保全と活用	30	第2項 廃棄物の発生抑制と 適正処理	94
第3項 多様な生態系の保全	32	第3項 バイオマス等の循環資源の 利活用	99
第4項 森林の保全	34	第3章 地球環境問題への取組の推進	101
第5項 水辺の保全	35	第1節 温室効果ガスの排出源対策の 推進	101
第6項 自然とのふれあいの推進と 適正な利用	36	第1項 地球温暖化の概要	101
第2節 快適な地域環境の保全と創造	37	第2項 本県の削減目標と県内の 排出状況	102
		第3項 本県の削減目標に向けた 取組	104
		第4項 低炭素社会を目指した まちづくりの推進	104

- 第5項 エネルギー利用の効率化と  
その他の取組……………106
- 第2節 エコエネルギーの導入促進……………107
  - 第1項 エコエネルギー導入の推進……………107
  - 第2項 エコエネルギーの普及啓発……………107
- 第3節 二酸化炭素の吸収源対策の  
推進……………108
  - 第1項 森林の適正な管理・保全……………108
  - 第2項 県民総参加の森林づくりの  
推進……………108
  - 第3項 地域材の利用拡大……………108
- 第4節 その他地球規模の環境問題への  
対策……………109
  - 第1項 フロン等オゾン層破壊物質の  
回収対策……………109
  - 第2項 酸性雨対策……………110

**第4章 環境・エネルギー産業の  
育成……………111**

- 第1節 環境・エネルギー技術への  
挑戦……………111
  - 第1項 新エネルギーの技術・  
製品開発の支援……………111
- 第2節 環境・エネルギービジネスの  
拡大……………113
  - 第1項 新エネルギーの事業化の  
支援……………113
  - 第2項 循環型環境産業の育成……………113
- 第3節 企業の環境活動の促進……………114
  - 第1項 省エネルギー・低炭素化機器の  
導入促進……………114
  - 第2項 企業の環境対策への取組の  
支援……………114

**第5章 すべての主体が参加する  
美しく快適な県づくり……………117**

- 第1節 自発的な環境保全活動の促進……………117
  - 第1項 自発的な活動の支援……………117
  - 第2項 地域が連携した活動の  
推進……………121
  - 第3項 県、市町村の率先行動の  
推進……………121
- 第2節 豊かな環境を守り育てる  
人づくり……………124
  - 第1項 推進基盤の整備……………124
  - 第2項 多様な場における環境教育・  
学習の推進……………125
  - 第3項 環境人材の育成と活用の  
推進……………126

**第6章 基盤的施策の推進……………127**

- 第1節 環境影響評価の推進……………127
- 第2節 環境に配慮した取組の推進……………129
  - 第1項 大分県環境マネジメント  
システムの構築……………129
  - 第2項 グリーン購入の促進……………130
- 第3節 環境情報の整備と提供……………131
- 第4節 調査研究、監視・観測等の  
推進……………132
  - 第1項 衛生環境研究センターの  
概要……………132
  - 第2項 環境保全に関する試験検査の  
実施状況……………133
- 第5節 規制的手法の活用……………133
  - 第1項 大分県生活環境の保全等に  
関する条例の施行状況……………133
  - 第2項 公害防止協定締結の現況……………134
  - 第3項 土地利用対策……………134
  - 第4項 工場立地対策……………135
  - 第5項 環境犯罪の取締り……………135
- 第6節 公害紛争等の適正処理……………136
  - 第1項 公害苦情及び紛争の処理……………136
- 第7節 地域環境保全基金……………137
- 第8節 再生可能エネルギー等  
導入推進基金……………137

**第3部 ごみゼロおおいた作戦  
環境関連事業の取組状況……………139**

- 第1章 平成26年度実施事業の  
取組結果……………139
- 第2章 平成27年度実施事業の  
取組状況……………151

大分県地球温暖化防止活動推進センター  
年次報告……………163

資料編……………167